

二本松工業（機械電気） 115坪，
郡山工業（工業化学） 60坪，
白河農工（電 気） 45坪，
会津工業（電気，精密機械） 87坪，
喜多方工業（機械，電気） 115坪，
小高工業（電気，前向き） 45坪，
勿来工業（機械，電気，工業化学，建築） 271坪。

(9) 一般施設

産業教育施設全般について体質改善を図るために一般施設の拡充が必要であるので、木造624坪，鉄骨149坪 鉄筋81坪を次のとおり充当した。

福島農蚕（60坪），福島工業（81坪），川俣（45坪），
安積（大槻26坪），耶麻（30坪），白農工（37坪），白河（28坪），猪苗代（60坪），会津工業（89坪），喜多方（15坪），会津農林（50坪），東白農商（40坪），岩瀬農業（30坪），喜多方商工（30坪），小野（42坪），磐農（47坪），相農（30坪），相農新地（60坪），双農（24坪），小野産業（30坪）。

(10) 分校施設

分校の施設改善のため次の分校に40坪を配当した。

相馬高校飯館分校（20坪），
安達高為針道分校（20坪），

(11) 産業科施設

産業科の施設充実のため次のとおり充当した。

福島工業（76坪），会津工業（75坪），小名浜水産（75坪），磐城農業（75坪）。

(12) 中学校技術家庭科設備の充実

昭和27年度より実施された産振法による国の負担金交付件数は本年度分113件になりほぼ目的を達成した。

2 現職教育の拡充

(1) 高等学校教育課程（職業）研究協議会

改訂教育課程の趣旨の徹底と指導力の向上のため中央研究協議会に、農，工，商，家の各課程から3人あて計12人を派遣するとともに、8月に福島，郡山，会津，富岡の4会場で、県内伝達講習会を開催した。

(2) 高等学校産業教育実技講習会

産業教育担当教員の資質の向上と指導能力の向上を期して主として京浜地区の大学または、産業会社に教員を派遣して実技研修を実施した。

(3) 産業教育指導者野成講座

産業教育担当者の資質の向上と指導能力の充実を図るため、文部省主催の当該講座に農，工，商，家各課程よりそれぞれ2～3名を派遣して中堅産業教育担当者の資質の向上を図った。

(4) 進路指導講座

新教育課程の実施に伴ない、進路指標が中学校，高等学校の特別教育活動において重要な位置を占めることになったので、山形大学に10人を派遣して資質の向上を図った。

(5) 中学校技術家庭科実技講習会中学校技術家庭科中央講習会に講師となるべきものを6人派遣し、県内の5会場で伝達実技講習会を開催した。

3 工業高等学校教員の充足計画

本年度は20名の予定に対し、15名を選定し、東北大学に6カ月間派遣して長期研修を行なわしめ、これが充足に当った。

資格は中学校現職者で工業科の免許状を所有するものとし、修了後は工業系教員となるものとした。

4 農業高等学校の体質改善

農業高等学校の刷新強化をはかるため、昭和36年度より3カ年計画で実施中のもので、昭和37年度は2年次目である。

- ① 文部省指定校、福島農蚕（園芸科），相馬農業（畜産科）計2校。
- ② 県指定校、小高農工（農業科を畜産科に転科），磐城農業（同上），田島高（農業科中の畜産園芸）喜多方高（農業科中畜産），相農新地（農業科中畜産）計6校

5 科学技術教育振興のための

実験，実習の充実

科学技術教育の進歩は実験実習の適切な指導によって実現されるものである。

本県の実験実習費は年間生徒1人当たり200円でじゅうぶんとはいえないでの増額を図る必要がある。

6 産業教育振興団体の助成

産業教育の振興のためには各種振興団体の協力にまつところが多い。本年度における当該団体助成費は100,000円である。